

第17回「VIVA JUDO！」杯 小学生柔道大会 要項

1. 目的 柔道の基本技能を正しく修得させるとともに、柔道の試合を通じて心身の鍛錬及びその技能を磨き、明るく、正しく逞しい少年の健全育成を図る。また、将来を担う少年の相互親睦を図ることを目的とする。
2. 主催 公益財団法人東京都柔道連盟
3. 企画・運営 株式会社吉田企画
4. 日時 令和5年10月15日（日） 団体戦 開会 10時00分（8時15分開場予定）
5. 会場 東京武道館 大武道場 〒120-0005 足立区綾瀬3-20-1 TEL 03(5697)2111
6. 試合種目 団体戦
7. 参加資格
 - (1) 小学3年生以上の男女で出場チームから全柔連登録をしていること。
 - (2) 監督は全柔連公認指導者資格（C指導員以上）が有効で資格登録が完了していること。
 - (3) 出場は、同一団体から2チームまでとする。
※ 監督の兼務は問わない。但し、試合中の監督席には必ず監督或いはコーチが着き、試合中の負傷等、起こり得ることに対応可能なこと。
※ チーム・監督・コーチ・選手は全柔連登録が完了していること。
※ 同団体から2チーム出場する場合は申し込み時のチーム名末尾にA・Bと表記すること
例) 東京都柔道クラブA ・ 東京都柔道クラブB
8. チーム編成
 - (1) チームは全柔連登録でチームIDを持ち、その団体登録が完了していること。
 - (2) 1チームの編成は、監督1名・コーチ1名・選手5名とする。（コーチのエントリーは任意）
 - (3) 選手の編成は大将・副将は6年生、中堅は5年生、次鋒は4年生、先鋒は3年生とする。
その学年の選手がいない場合は1学年下の選手をエントリーすることができる。
但し、先鋒には適用しない。（2年生以下の出場は不可とする。）
 - (4) 選手は学年順に配列し同学年内は大将側から体重の重い順に配列する事。
9. 試合方法
 - (1) 試合はトーナメント戦で行う。
 - (2) 各チーム5名の点取り対抗戦とする。
 - (3) トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
 - ア. 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - イ. アで同等の場合は、「一本」（それと同様の勝ちを含む）による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - ウ. イで同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - エ. ウで同等の場合は、代表戦を1回行い必ず勝敗を決する。出場する選手は「引分け」であった対戦の中から1試合を抽選で選出する。
10. 審判規定
 - (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会特別規定」で行う。
 - (2) 試合時間は、1回戦～準々決勝戦まで2分とし、準決勝戦・決勝戦は3分とする。
代表戦についても、それぞれ2分及び3分とする。
 - (3) 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり）がない、又は同等の場合、「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合「引き分け」とする。但し、代表戦の場合は旗判定で必ず勝敗を決する。
（GSは行わない。）

11. 表彰 (1) 優勝・準優勝・第3位（2チーム）の計4チームを表彰する。
(2) 参加選手全員に参加賞を授与する。
12. 参加申込 (1) 申込期間 令和5年8月23日（水）～9月13日（水）
(2) 申込方法 Googleフォームによる申し込みとする
申込みURL： <https://forms.gle/VRdoAuMU43L292wv5>
*Googleフォームより「送信」すると「申し込みを承りました」と画面上部に表示され、入力したアドレスに申込内容が返信されます。アドレスは正確に入力してください。
*迷惑メールの対策などでドメイン指定を行っている場合、メールが受信できないことがありますので、「@tojuren.or.jp」を受信設定してください。
(3) 参加費 無料
(4) 問い合わせ先 公益財団法人東京都柔道連盟
メール：tojuren@tojuren.or.jp / TEL：03-3818-5639 または 080-3505-4985
13. 選手変更 (1) 申込み後の選手変更は原則として認めない。
(2) 負傷等で止むを得ず選手変更を行う場合は、下記期日までに変更手続きを行うこと。
変更期間 10月10日（火）まで
変更方法 新たな選手を含め再配列（同学年内は大将側から体重の重い順とする）し、選手変更フォーマットに入力の上、メールにて提出してください。
送信先アドレス：moshikomi@tojuren.or.jp
※期日以降の選手変更は如何なる理由でも認めない。
(3) 変更期日以降に欠場者が出た場合は直ちに申し出ること。選手の補充・変更は出来ません。
なお、選手欠場の場合は申出のオーダーそのまま不戦敗とする。
(4) 当日負傷等によって出場出来なくなった場合は欠員のままとする。
(5) 大会中の負傷等により不戦敗となった選手は、以後の試合には出場出来ない。
14. 組み合わせ 令和5年9月15日（金） 東京都柔道連盟が行う
15. 保険 (1) 主催者が参加者全員に対して傷害保険の加入手続きを行い、その費用を負担する。
尚、万が一の事故発生に備え、参加者各人が別途傷害保険に加入するなどして、万全の事故対策をたてておくこと。
(2) 大会中の不慮の事故・疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。
(3) 大会当日、参加者は健康保険証を必ず持参すること。
16. 柔道衣 原則として柔道衣の袖・裾の折込みは禁止とする。ただし、成長期を考慮し、今大会に限り5cm・一折りまでの折込み可。また、前合わせについては十分な重なりがあること。
認証柔道衣の使用は義務付けない。但し、製造者マークについては全柔連の規程を遵守する。
*肩に三本線の入ったアディダスの柔道衣は認めない。
17. ゼッケン 参加選手は着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付けること。
ゼッケンを付けていない選手は出場出来ない。

図1 ゼッケンの縫付方

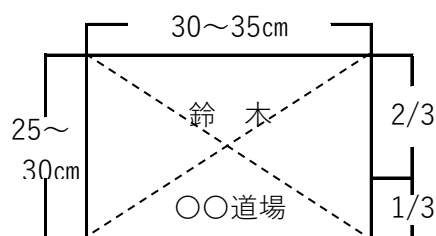
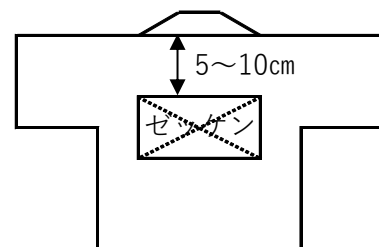


図2 ゼッケンの縫付位置



- (1) 所属名は『申込み団体名』（省略は可）とする。
~~※同団体から2チーム出場の場合はチーム名A・チーム名Bと表記すること。~~
- (2) チームに2名以上同じ名字（姓）の場合は、名前の一文字以上を加える。※補足確認
- (3) 図2の位置に強い糸で縫い付ける。対角線-(- の部分) も必ず縫い付けること。
- (4) 名字（姓）は上側2/3、出場するチーム名は下側1/3。
- (5) サイズは概ね横30cm～35cm、縦25cm～30cm。
- (6) 布地は白色(晒・太綾)とし、書体は太いゴシック体または明朝体(楷書)で、男子は黒文字、女子は赤文字とする。

18. 各種対応について

(1) 脳震盪対応について

選手および指導者は下記事項を遵守すること。

- ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け出場許可を得ること。
 - ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
 - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し書面により事故報告書を提出すること。
- (2) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は大会への出場ができない場合もある。

19. その他

(1) 個人情報、肖像権の取り扱いについて

Googleフォームに入力された個人情報や競技結果・大会中に撮影された写真または動画等の映像が、大会プログラム・掲示物・大会ホームページ・都柔連Facebookに掲載される場合があります。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合があります。

大会時に撮影する映像を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合があります。

- (2) 選手の宿舎及び大会当日の昼食は各自で用意すること。また、宿舎の斡旋は行わない。
- (3) 監督・コーチは、審判員に準じた服装(背広・ネクタイ着用)とする。